

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	摂南大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	セツナンダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F127310107947
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	理工学部・国際学部・経営学部・経済学部・法学部・農学部
	担当教職員名・役職	石井 三恵・教授、水野 武・講師、坂口 有芸・特任講師
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	46
	受入企業等数	131
	受入企業等名	青山商事(株)、(株)サカイ引越センター、株式会社箭木木工所、防衛省自衛隊大阪地方協力本部、北おおさか信用金庫、北河内農業協同組合、門真市役所 他
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次～4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動
	上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)	-
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	-
	1-3.上記回答内容に関する詳細	本学の「インターンシップ」では受入先社員に付いて実習を行うことで、社会人の考え方や、仕事の責任と充実感を直接肌で感じることを目的としている。具体的な就業体験としては営業体験、店舗での接客体験、工場・農場での実技実習など。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	-
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	本学では3年次生を対象に授業を開講している。大学内で行うビジネスマナーなどの座学を中心とした事前・事後学習と、夏期休業期間中に行う5日間以上の就業体験をとおして将来の職業意識の養成を図ることを目的としている。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	-
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	-
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	一部企業に対し、教員が企業に赴き学生との面談を実施している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	全5回(15コマ)の事前学習を実施。内容としては、インターンシップの目的を考えると、産業・企業の理解を深めること、効果的なプレゼンテーションの仕方、話し方やメールの書き方などを含む社会人のマナーなど。また、直前学習の2コマでは履歴書や実習報告書の書き方、企業訪問時の注意点やマナー等を身につける授業を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	全3回(6コマ)の事後学習を実施。第1回では個人のプレゼンテーションを行い、第2回では個人の発表をまとめグループでの発表を行う。第3回では教員からの総括と、振り返りシートにて実習前後の自己評価を行う。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	実習後、希望者に対し担当教員がフォローアップ面談を行っている。面談を行うことで、学生は就業体験と自らの学びがどのようにつながったか確認することができる。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	-
	4-3.上記回答内容に関する詳細	実習前後でインターンシップに関するレポートを作成し、自身の就業に対する意識に変化があったか、目標は達成できたかを振り返っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	5日間
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	-
	5-3.上記回答内容に関する詳細	各受入先企業において、計5日間以上のインターンシップを行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	-
	6-3.上記回答内容に関する詳細	本学就職課が受入企業と詳細な協議を行い、受入条件(原則5日間以上を確保)や実習内容を策定している。就業体験後受入先に評価表を作成いただき、改善点やアドバイス等を学生にフィードバックしている。

項目	確認事項	届出内容
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://portal.setsunan.ac.jp/GAMJWEB/sbsskgr.do?clearAccessData=true ※上記URLから「インターンシップ」で検索
問い合わせ先	大学等名	摂南大学
	担当部署名	全学教育機構
	担当者役職名	課員
	担当者氏名	香西 愛梨
	電話番号	072-839-9432
	メールアドレス	setsunan.allkyoiku@josho.ac.jp